



FOR IMMEDIATE RELEASE

News Release

質問は以下まで：

Kalray Japan
東京都港区虎ノ門 3-22-1
Tel: 080-4660-2122
Email: ksugiyama@kalray.eu

Kalray Headquarter
86 rue de Paris
F-91400 ORSAY
Tel: +33 1 69 29 08 16
Email: info@kalray.eu
www.kalray.eu

KALRAY 社、ESEC（組込みシステム開発技術展）で新製品のデモ

KALRAY 社は 5 月 8 日から東京ビッグサイトで開催される ESEC で **MPPA® 256core** プロセッサ を利用した低消費電力、高性能のデモを行います。

これらは KALRAY が注目しているリアルタイム産業用ビデオプリプロセッシング及びエンコーディング、高性能暗号化処理、シグナルプロセッシング、拡張リアリティー、及びその開発ツールです。

MPPA MANYCORE プロセッサは消費電力当たりで優れた演算能力持つデバイスの一つであり、組込みソリューションにブレイクスルーをもたらします。ESEC では KALRAY 社の開発プラットフォームである **MPPA DEVELOPR** を利用しこの能力を数々のアプリケーションで見せます。

Kalray 社は**西展示棟 10-20** で以下のデモを行います。

***ビデオ信号処理**：MPPA-256 メニーコアプロセッサのリアルタイム産業用高品質ビデオのプリプロセッシング、コーディング、トランスコーディング能力のデモ。このデモでは通常、高コスト、高消費電力でプログラム作成が大変な FPGA や ASIC が受け持っている演算タスクを肩代わりできる、同プロセッサの処理能力の高さがハイライト。

***データプロセッシング**：またこのプロセッサはホストコンピューターと大量の処理やデータをやり取りできる加速ボードとしても利用可能。ここでは PCI Express Gen 3 経由で大量の AES 暗号化処理アプリケーションをこなす能力をデモします。プロセッサの 256 個のコアが消費電力当たりのベストプロセスパワーを提供するように最適に組み合わせられています。

***拡張リアリティー**：高性能 SLAM アルゴリズムで、リアルタイム AR 画像を移動可能端末（例えばタブレット型）でも利用できる程度の消費電力で創り出せる 3D 拡張リアリティーのデモ。

***シグナルプロセッシング**：高い演算能力が求められる、産業用で幅広い分野のアプリケーション（GSM、WiFi、レーダー、医療画像、音声認識等々）に必要な信号処理アルゴリズムを MPPA MANYCORE ソフトウェアで処理。

***MPPA ソフトウェア**：上記の数々のアプリケーションは KALRAY 社の開発ツールである MPPA ACCESSCORE を利用してお客様が設計されたもの。MPPA ACCESSCORE は業界標準の C/C++プログラミングツールをベースに Eclipse 開発環境に組み込まれています。全てのデモは KALRAY 社の旗艦製品である MPPA DEVELOPPER ワークステーション上で実行され、1チップの消費電力 5W 程度でピーク値 700 Gops、230 GFlops に達する MPPA-256 の能力を利用しています。MPPA 独特の演算パワーと低コスト（FPGA、ASIC 比較）及び高レベルのプログラミングツールの組み合わせが、広範囲の組み込みアプリケーションで生産性と市場投入時間の短縮を可能にします。

ESEC 西展示棟 10-20 へ是非お越しください。

Kalray について

Kalray は 2008 年に設立された高性能アプリケーション向け新世代メニーコアプロセッサを開発・販売するファブレスの半導体及びソフトウェア会社。代表的なアプリケーションとしては画像及び音声の信号処理、科学計算、通信インフラ、指揮管理等々。STMicroelectronics 社の元副社長、Joël Monnier が従業員 55 人を率いフランス国内の投資ファンド、個人投資家、OSEO（革新的なプロジェクトに対して SME 開発銀行が援助するフランスの公共機関）が支援している。Kalray の技術は CEA（仏原子力庁）所属研究機関の 30 人も協力している。なを、追加情報は <http://www.kalray.eu> へ。